



学校教育目標

夢に向かって、気づき・考え・行動する 児童の育成

「湖人と次郎は似ていますか？」



6月9日(火)3.4校時 1年1組と2年1組で、下村湖人生家の館長 島 英彰先生をお招きして次郎物語学習会が行われました。前半は、プレゼンテーションを見ながら、下村湖人先生や次郎物語のことについて考えました。

写真は、下村湖人先生と登場人物の次郎の似ている点と異なる点について考えているところです。

その後は、1年1組は渡辺先生、2年1組は高橋先生から紙芝居(1年「北極星」2年「そろばん」)の読み聞かせをしてもらいました。

紙芝居は、島先生が手作りされたものです。子どもたちは物語に引き込まれるように聞き入っていました。ご家庭でもこの機会に「次郎物語」を手にとって話題にしていただけるとありがたいです。

ボランティア集会



6月11日(木)ボランティア集会を行いました。「白鳥 蘆花に入る」の意味を確認したり、どんな行動がボランティアなのかを考えたりしました。今後、子どもたちがどんなボランティアに取り組んでくれるようになるのか楽しみです。

もし、真剣に訓練しなかったら・・・

6月12日(金)5校時 全校で地震・津波対応のための避難訓練を行いました。まず、地震の後、建物の倒壊などから逃れるために運動場に避難し



ました。その後、津波が来ているという情報が入り、校舎の屋上へ避難場所を変更するという流れで行いました。不審者対応のための避難訓練の時と同じ「お・か・し・も・ち」(おさない、かけない、しゃべらない、もどらない、ちかづかない)を合言葉に取り組みましたが、今回は残念ながら少しおしゃべりが聞こえました。勉強でも運動でもいきなり本番だとうまくいきません。真剣に訓練していなかったら、災害時に安全に行動することは難しいと思います。2学期の火災対応のための避難訓練の時には、今回の反省を活かし、事前の指導を大切にしたいと思います。

糸通し、玉止め、玉結び



6月12日(金)1.2校時 おむすびチームの方々が来校され、5年1組の家庭科の授業の支援に入ってくださいまし

た。裁縫に初めて取り組む5年生にとって、針に糸を通したり、玉止めや玉結びをしたりするのは大変難しいことです。しかし、おむすびチームの方々が班に1人ずつ入っていただけだったので、間近で手本を見たりアドバイスをもらったりすることができました。

次郎とのふれあい集会・1年生引き渡し訓練

6月14日(日)は、ご参観・ご協力ありがとうございました。紙面の都合により、「次郎とのふれあい集会」や「1年生引き渡し訓練」の記事は、No. 13に掲載しようと考えています。